まったりゆうちゃんのアピール文書2022

前回からの新マシンはうまくいっていて、それですすめている（4倍近くはやい）。少しの改良を加えようとしているが間に合わないかもしれない。

複数のシステムを動作させて、その間でデータをやり取りして並列動作をする方法を検討している。

以下は前回とほぼ同様の説明である。

1990年過ぎから開発を始めた。4半世紀にわたって開発しているシステムである。当初のコードもたくさん含んでいる。完全独自開発であり、他のシステムを参考にしていない(考え方は参考にしている)。アイデア的にも独自工夫をしている。

今日、AIというとディープラーニングをはじめとしてパラメータ学習に基づくものが多い。コンピュータ将棋での駒価値学習もそうである。しかしそうでない進化論的計算などの方式を試そうとしている。またディープラーニングと多量パラメータ学習の中間的なメカニズムを考えたいと思っている。

実現できるかどうかわからないが、全面的に書き換えることを考えている。今日からみれば、適切でないコーディングもある。それを直すことで、新しい並列方式が実現できると考えていて、少しとりかかっている。

開発者の年齢がもっとも高いのではないか。可能な限りやめないで続けたいと思っている。コーディング能力がいつまで続くか試したい。